

テーマ展「雅な遊び」展示作品リスト

番号	名称	数量	作者	時代	所蔵
ばんじょうゆうぎ プロローグ ～盤上遊戯～					
1	くろうるしぬりきんまきえごばん 黒漆塗金蒔絵碁盤	1面		江戸～明治時代	当館（井伊家伝来資料）
2	くろうるしぬりきんまきえすごろくばん 黒漆塗金蒔絵双六盤	1面		江戸～明治時代	当館（井伊家伝来資料）
3	くろうるしぬりきんまきえしょうぎばん 黒漆塗金蒔絵将棋盤	1面		江戸～明治時代	当館（井伊家伝来資料）
4	よほうのながめとびすごろく 四方之眺飛双六	1枚		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
みやび 雅な遊び ～王朝文化の広まり～					
5	びわ めいあきかぜ 琵琶 銘秋風	1面		室町時代	当館（井伊家伝来資料）
6	しょう めいげんえいまる 笙 銘元永丸	1管	慶俊	元永元年(1118)	当館（井伊家伝来資料）
7	そう つけたりそう じ つめぶくろ 箏（附 箏の柱、爪袋）	1面	治貞	江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
8	おぐらひやくにんいっしゅ 小倉百人一首	1帖	一條兼輝ほか	江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
9	さんじゅうろくにんうたあわせ 三十六人歌合	1冊	石井行忠	江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
10	ななじゅういちばんしよくにんうたあわせ 七十一番職人歌合	2巻のうち1巻		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
11	つきなみちやき 月次茶器	12合		江戸時代	個人
12	げんじものがたり つけたり いしやまでらまきえだんす 源氏物語（附 石山寺蒔絵筆筒）	53冊	中院通茂	延宝3年(1675)	当館（井伊家伝来資料）
13	えいりげんじものがたり 絵入源氏物語	60冊		承応3年(1654)	当館（井伊家伝来典籍）
14	いせものがたり 伊勢物語	2冊		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
15	いせものがたりうた 伊勢物語歌かるた	1揃		江戸時代	当館（井伊家伝来典籍）
16	むしきさず 虫聞図	1幅	松平容敬	江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
17	しゅうるしぬりとりかご つけたり くろうるしぬりらでんまきえそとぼこ 朱漆塗鳥籠（附 黒漆塗螺鈿蒔絵外箱）	1式		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
18	むらなしじきんまきえじんわりばこ 叢梨子地金蒔絵沈割箱	1式		江戸～明治時代	当館（井伊家伝来資料）
19	こうぐばかり 香具秤	1式		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
20	こうどうひでんしょ 香道秘伝書	2冊		江戸時代	当館（井伊家伝来典籍）
21	あおがいはなかがもんこうごう 青貝花籠文香合	1合		中国・明時代	当館（井伊家伝来資料）
22	こうちあらいそもんこうごう 交趾荒磯文香合	1合		中国・明時代	当館（井伊家伝来資料）
23	なしじまつもんまきえすはまがたこうごう 梨子地松文蒔絵洲浜形香合	1合		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
24	すずめこゆみ 雀小弓	1式		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
25	ようきゅう 楊弓	1式		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
26	せんめんちらしずふすま 扇面散図襖	3面	狩野永岳	江戸時代	当館
27	とうせんきょくてんしきえず 投扇曲点式絵図	1枚		江戸～明治時代	当館（専宗寺寄贈資料）
28	たちびな 立雛	1対		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
29	ひなどうぐ（かいおけ、さんたな、かご、ごばん、すごろくばん、こうどうぐ 雛道具（貝桶、三棚、駕籠、碁盤、双六盤、香道具、 しゃみせん、こきゅう、うちかけ、いこう） 三味線、胡弓、打掛、衣桁）	1式		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）
30	ごしよにんぎょう 御所人形	2軀		江戸時代	当館（井伊家伝来資料）

作 品 解 説

1 黒漆塗金蒔絵碁盤 1面 (作品リストNO. 1)

縦40.2cm 横43.7cm 高26.0cm

江戸～明治時代

当館蔵 (井伊家伝来資料)

日本で古くから楽しまれてきた遊びである碁で用いる盤。碁は、白黒の駒を交互に並べ、地を広く占めた方が勝ちとなる遊びです。碁盤は、双六盤と将棋盤と揃いで「三面」と呼ばれます。江戸時代には、三面は、女性の教養を育むにふさわしい遊戯具とされ、婚礼調度の定番となりました。本作は、彦根藩井伊家14代直憲なおのりの正室として有栖川宮家から迎えられた宜子よしこが持参した婚礼調度の1つです。



2 笙 銘元永丸 1管 (作品リストNO. 6)

慶俊 作

総高52.1cm

平安時代後期 元永元年 (1118年)

当館蔵 (井伊家伝来資料)

雅楽に用いる管楽器。碗型の頭かしらに17本の竹管を立て、頭に据えられた吹き口から息を吹いたり吸ったりして音を鳴らします。本作は平安時代に遡る古楽器です。作者の慶俊けいしゆんは奈良の菩提山正曆寺しやうりやくじの僧で、彼の作る笙は、名器として有名でした。この笙は、白河上皇 (1053～1129) が、和歌山の熊野に参詣する際、宝物として奉納するために作られました。頭の部分は江戸時代の作で、蒔絵で岩かんぼくに灌木が描かれています。



3 伊勢物語歌かるた 1揃 (作品リストNO. 15)

各 縦8.6cm 横5.8cm

江戸時代

当館蔵 (井伊家伝来資料)

伊勢物語は、平安時代に成立した作者未詳の歌物語です。伊勢物語には、200首以上の和歌が織り込まれており、本作は、これら伊勢物語所収の和歌をしたためたかるたです。流麗な筆致で句が書かれ、上の句の札には、金箔が散らされています。



4 楊弓^{ようきゅう} 1式 (作品リストNO. 25)

弓長88.8cm 矢長28cm

江戸時代

当館蔵 (井伊家伝来資料)

ミニチュアの弓を用いて的を射て、その点数を競う遊びの道具です。組分けのための札や、点数の計算に使う算盤^{そろばん}、それを記録するための筆記用具などが一式として揃っています。揚弓は、平安時代の貴族の弓矢遊戯の形式を受け継ぐ遊びですが、江戸時代には庶民の遊びとしても親しまれました。

